読む・書く・話すの基礎を育てる

# わくわくサイコロゲーム

## 音（音韻）編

9月下旬発行

かもがわ出版

NPOフトゥーロ
LD発達相談センターかながわ 編著

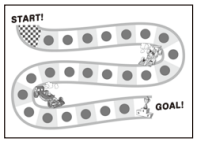
対象年齢：５歳～小学生くらい　人数：２～４人
対　　象：読み書きが苦手な子、音韻認識が苦手な子
（例：「ふうせん」→「ふせん」／「おにごっこ」→「おにごこ」など）

この教材は、ひらがなの読み書きができるようになるためには、
「音の粒が文字と対応していること」を理解する必要があります。
サイコロ、すごろく、各種シートのあそびを通して
音の粒に敏感になる（＝音韻を学ぶ）ことをめざします。

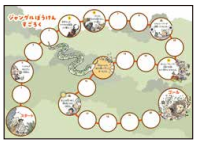
●ケースのサイズはB5判です

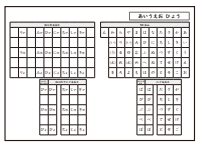
### 箱に入っているもの

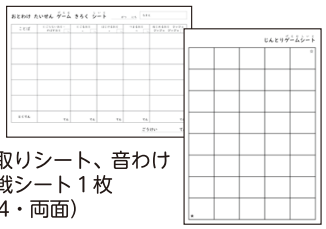
イラストサイコロ７個
A～F＋白紙サイコロ
（組立式／１辺70mm）

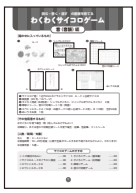


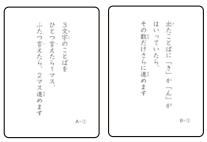
シンプル
すごろく（B4）


ジャングルぼうけん
すごろく（B4）


あいうえお表
１枚（B4）


陣取りシート、音わけ
対戦シート１枚
（B4・両面）


解説書（A5）


スペシャルカード　合計26枚
A（14枚）、B（10枚）、
白紙カード（２枚）

### 特　徴

- サイコロは６種類（A～F）あり、各面に描かれているイラストのことば（単語）の音すべてを合わせると、ほぼ50音の全部（の、は、る、を以外）になります。
- サイコロ６種類は、A（清音のみ）、B（清音＋濁音）のように、ひらがなを習う順番［清音→濁音→半濁音→長音→促音→拗長音］に合わせてあり、子どもの実態に合わせて、サイコロを選べます。
- 白紙サイコロで子どもに合わせたオリジナルなことばも作成可能です。
- サイコロとすごろく、シート、スペシャルカード（A、B）の組み合わせを変えると、何通りも楽しめ、子どもの実態に合わせて使えます。

ISBN978-4-7803-1108-2　C8037　定価：本体 3,500円+税

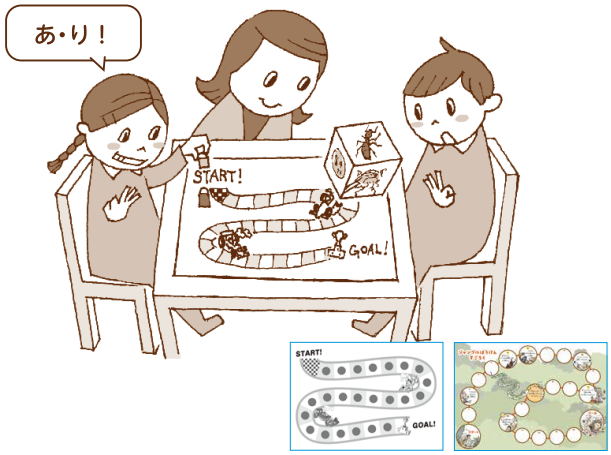
かもがわ出版
http://www.kamogawa.co.jp
〒602-8119　京都市上京区堀川通出水西入る
TEL 075(432)2868　FAX 075(432)2869

発注・出荷に関するお問い合わせは
かもがわ出版流通センターまで
〒601-8122　京都市南区上鳥羽北塔ノ本町18
TEL 075(672)0034

| 注文書 | 書店印 | 条件 | 部数 | かもがわ出版　注文FAX：075-672-0035 | 定価 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 新刊委託 | 冊 | 読む・書く・話すの基礎を育てる<br>わくわくサイコロゲーム　音（音韻）編<br>NPOフトゥーロ　LD発達相談センターかながわ／編著<br>ISBN978-4-7803-1108-2　C8037　￥3500E | 本体3500円＋税 |

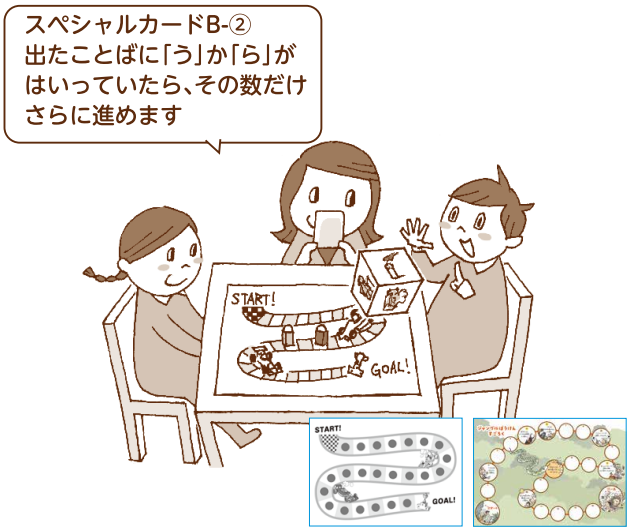
# あそび方

## 1 すごろくゲーム（基本編）



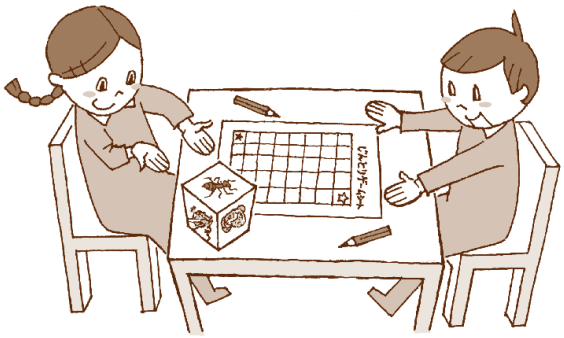

①子どもの実態に合わせて、使うサイコロとすごろくを決める。
②サイコロを振り、「あり」のイラストが出た場合、声に出して、「あり」と音の数を確認しながら２マス進む。サイコロC・E・Fでは、スペシャルカードAを使う。
③最初にゴールした人の勝ち。

## 2 すごろくゲーム（応用編）

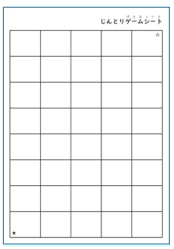



①すごろくゲーム基本編と同様に、サイコロとすごろくを選ぶ。
②サイコロを振った後、スペシャルカードBを引き、カードにあるお題に答える。
③最初にゴールした人の勝ち。

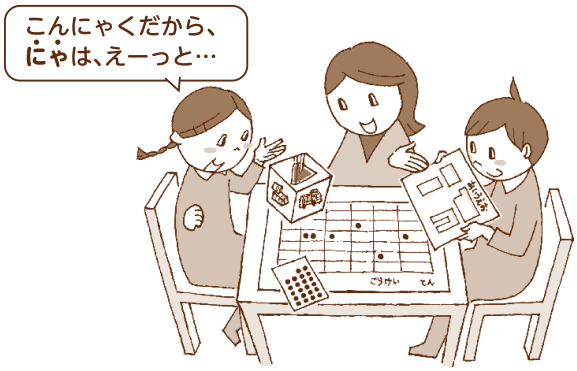
## 3 陣取りゲーム



①子どもの実態に合わせて使うサイコロを決め、人数に合わせて陣取りシートを準備。
②すごろくゲーム基本編と同様に、サイコロを振り、多く陣地をとった人が勝ち。
＊３つのルール：基本ルール（はじから陣地を隙間なく広げていく）、発展ルール（辺や頂点をつなげて陣地を広げていく）（頂点しかつなげられない）



## 4 音わけ対戦ゲーム




①子どもの実態に合わせてサイコロを決める。
②サイコロを振る回数を決める。音わけ対戦シートは、音（清音、濁音など）で部屋がわかれており、出たことばの音数をシートに合わせて分類。
③例えば、「清音の部屋」のポイントを競ったり、部屋ごとに配点を決め合計ポイントで競う。